PERSOL NEWS RELEASE

2026 年 11 月 18 日
パーソルイノベーション株式会社

DX 推進を阻む「推進人材不足」に対応
『ビルスピアカデミー』が製薬企業における支援事例を公開
～役割別育成により、現場部門のプロジェクト推進力向上を支援～

「はたらいて、笑おう。」をビジョンに掲げるパーソルグループのパーソルイノベーション株式会社 ビルスピカンパニー（本社：東京都港区、ビルスピカンパニー代表：片岡 秀夫）が運営する、実践型のオーダーメイド研修でDX人材を育成する『ビルスピアカデミー（旧：TECH PLAY Academy）』（https://www.buildspi.jp/ ）は、製薬企業向けに支援を行った「BPR人材育成支援事例」を公開しました。
近年、企業ではAI活用やDX推進への投資が進む一方で、現場での定着や業務改善につながらないケースも少なくありません。その要因の一つとして、業務課題を整理し、関係部門との合意形成を図りながら変革を推進できる人材の不足が指摘されています。
本事例では、受講者の役割に応じて育成内容を設計し、実際の業務課題をテーマとした演習を実施。プロジェクトマネジメントの知識習得にとどまらず、業務変革を実行できる人材の育成を目指しました。



■本支援事例公開の背景

AI・DX活用が進む一方で高まる「業務改革を推進できる人材」へのニーズ

DX投資が進む一方で、業務改善や生産性向上といった成果につながらないケースも少なくありません。
IPA「DX動向2026」によると、**DXに取り組む企業の85.5%がDX推進人材の不足を感じており、半数以上（50.1%）が「大幅に不足している」と回答**しています。
特に、課題整理や関係部門との合意形成を担い、業務改革を推進するBPR（Business Process Re-engineering）人材へのニーズは高まっています。しかし、多くの企業では、業務改革を推進する役割を期待される現場リーダーや中核人材が、課題整理や計画策定、関係者との調整方法を体系的に学ぶ機会は十分とは言えない状況です。

問い合わせ先 パーソルイノベーション株式会社 広報室
TEL：03-6757-4259 MAIL：pino_pr@persol.co.jp

そこで本事例では、実際の業務課題を題材に、課題整理から計画立案、関係者との連携までを実践的に学ぶプロジェクトマネジメント研修を実施。単なる知識習得にとどまらず、業務改善や業務変革の推進につながる人材育成に取り組みました。

■本事例のポイント

1. 各部門でデジタル・ITプロジェクトを担うリーダー・メンバーを対象に、役割別の育成を展開

本研修は、企画・管理・実行を担うリーダーと、リーダーを支えながら業務を遂行するメンバーを対象に実施しました。導入企業が定義した役割と現場の実態を踏まえ、それぞれに求められる判断や行動を整理した上で育成内容を設計しました。

2. 実際の業務改善プロジェクトを想定して演習を実施

研修では、自社・自部署が抱える業務課題をテーマに演習を実施しました。現状と目指す姿の整理から、要求・要件の具体化、関係者やリスクの整理、計画策定までを段階的に学ぶことで、実務に即した学習機会を提供しました。

3. 現場部門が主体的にプロジェクトを進めるための実践力を強化

現場部門がベンダーへ適切に依頼し、関係者と連携しながらプロジェクトを推進できるよう、要求・要件整理やステークホルダー管理を演習に反映しました。リーダーは全体計画や関係者調整、メンバーは現場課題の整理やベンダーとの認識合わせなど、それぞれの役割に応じた実践力の向上を支援しました。

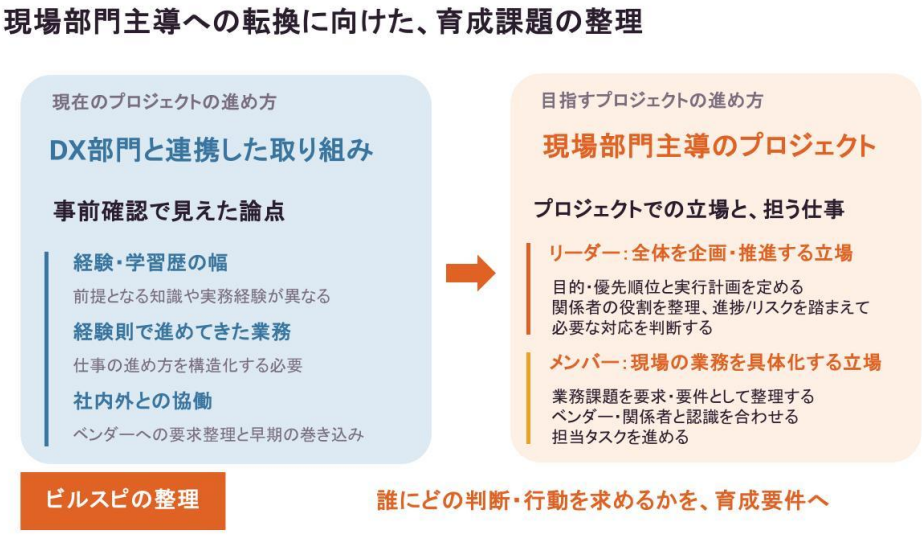
■相談時の状況

「現場部門が主体となり、デジタル・ITプロジェクトを推進できる人材を育成したい」

同社では、デジタル・ITを活用した企業改革を進める中で、プロジェクトの企画・実行力向上に向けた人材育成を検討していました。

事前ヒアリングやアンケートを通じて、受講者の実務経験やプロジェクトマネジメントの学習歴には幅があることがわかりました。また、経験則に頼ってきた業務の進め方を整理することや、現場部門がベンダーへ適切に要求を伝えること、関係者を早い段階から巻き込みながらプロジェクトを進めることが課題として挙がりました。

そこで『ビルスピアカデミー』では、同社が期待するリーダー・メンバーそれぞれの役割と現場の実態を踏まえ、求められる判断や行動を整理。業務改善を進める際のプロセスや役割分担を明確化した上で、それぞれに必要なスキルを身につけられる研修プログラムを設計しました。



■研修設計のポイント

リーダーとメンバーで異なる役割に応じて、育成内容を設計

事前ヒアリングを通じて、リーダーとメンバーではプロジェクトで担う役割や求められる行動が異なることを整理しました。

問い合わせ先 パーソルイノベーション株式会社 広報室
TEL：03-6757-4259 MAIL：pino_pr@persol.co.jp

リーダーには、業務課題をもとにプロジェクトの目的や優先順位を定め、関係者やリスクを踏まえながら全体計画を構築する役割を設定しました。一方、メンバーには、現場の課題を要求・要件として整理し、ベンダーや関係者と認識を合わせながら担当業務を推進する役割を設定しました。
そのため、リーダー向けには企画・構想からプロジェクト計画、KPI、ロードマップ策定までを、メンバー向けには要求・要件整理や関係者との連携を中心に学ぶ内容を設計。さらに、自社・自部署の業務課題を題材とした演習を取り入れることで、それぞれの役割に応じた実践的な学習機会を提供しました。

■研修を通じて生まれたアウトプット
自部署の課題を起点に、要求・要件整理から計画策定までを具体化
本研修では、プロジェクトマネジメントの国際的な知識体系であるPMBOK（Project Management Body of Knowledge）をはじめとするプロジェクトマネジメントの考え方を土台としながら、自部署の課題を実行可能な計画へ落とし込むことを目指しました。
受講者は、自社・自部署の課題を題材に、要求・要件の整理から関係者との調整、リスク管理、実行計画策定までを段階的に検討し、プロジェクト計画書や要求整理資料など、実務で活用できる成果物を作成しました。



参考図｜受講者が作成したプロジェクト実行計画の例
自部署の業務課題を題材に、工程、関係者、リスクを整理して作成した成果物。
※図は受講者の成果物をもとに再構成したサンプルです。

■受講後に見られた変化
学びを自身の業務に当てはめ、実務で活用
研修では、自社・自部署の課題を題材とした演習を通じて、課題整理から要求・要件の具体化、関係者との調整、計画策定までを段階的に学習しました。その結果、**リーダー向け研修では受講者14名全員が、メンバー向け研修では90.3%が「学んだ内容を実務で活用できる」と回答**しました。実務への活用期待は5段階評価でリーダー向け研修は平均4.64、メンバー向け研修は平均4.42となりました。

受講後には、関係者の意見を事実と解釈に分けて整理することや、相手の立場や関心に応じて説明や協力依頼の方法を工夫すること、リスクへの備えを実際のプロジェクト運営に取り入れることなど、実務での行動変容も見られました。また、要求・要件の

問い合わせ先　パーソルイノベーション株式会社　広報室
TEL：03-6757-4259 MAIL：pino_pr@persol.co.jp

整理やベンダーとのコミュニケーションに研修内容を活用したという声に加え、改善依頼フローの整備や業務改善の取り組みにつながった事例も確認されています。
さらに、受講後アンケートでは、**リーダー向け研修の満足度は100%**（14名中14名）、**メンバー向け研修でも87.1%が「満足」「大変満足」と回答**しました。

■本事例から得られた示唆

学びの定着には、実践機会や職場環境の整備も重要

アンケートや追跡調査の結果からは、内容への評価や活用意欲が高い一方で、実践機会や時間の確保、上司・周囲の理解といった職場環境も、学びの定着に影響することが分かりました。
『ビルスピアカデミー』では、研修設計だけでなく、学んだ内容を実務で試し、振り返る機会を設けることまで含めて、人材育成施策を検討することが重要であると考えています。

■プログラム概要

導入企業：製薬企業
活用サービス：BPR人材育成／プロジェクトマネジメント研修
対象：各部門でプロジェクトを担うリーダー・メンバー
実施期間：約3か月に分けて実施。リーダーは全4回、メンバーは全2回を2クラスで実施
支援範囲：育成要件整理、役割別カリキュラム設計、研修・演習支援、アンケート分析、研修後の活用状況確認
<事例サイトURL>
https://www.buildspi.jp/usecase/pharmaceuticalindustry-bpr

■『ビルスピ』について　＜ https://www.buildspi.jp/ ＞

『ビルスピ（旧：TECH PLAY Academy）』は、「変革は、外注できない。」をスローガンに、企業のDX人材育成を支援するサービスです。ツールや知識の習得で終わることなく、現場活用と定着にこだわり、これまでに大手企業100社以上で研修を実施し、満足度95%超、リピート率90%超を実現。
生成AI、データサイエンス、事業開発、エンジニアなど各分野の専門家が設計した「オーダーメイド型」研修で、業務課題に直結する"成果を生み出す人材"を育成しています。

■パーソルイノベーション株式会社について＜ https://persol-innovation.co.jp/ ＞

パーソルイノベーション株式会社は、パーソルグループの次世代の柱となる事業創造を目的に、2019年4月に事業を開始しました。世の中で見過ごされてきた“誰かが解くべき”はたらく領域の課題に向き合っています。まずは、フロントラインワーカー※1向けの転職/採用支援に取り組むべく若年層・未経験者向け転職支援サービス『ピタテン』やドライバーに特化した転職エージェントに注力します。また、約10万件※2の求人情報を人材紹介会社に開放する求人データベース事業『HITO-Linkエージェント』など業界のパラダイムシフトとなるようなサービスも展開していきます。今後も新たな価値創出を通じて、はたらくの常識をアップデートし続けてまいります。

※1 フロントラインワーカー：物流・運送、製造、建設、小売、飲食、介護など、人々の生活や社会インフラを支える現場業務に従事する職種の総称。

※2 当社調べ。2026年7月末時点の『HITO-Linkエージェント』データベース掲載求人を対象に、複数媒体の重複求人を除いて集計した求人数。

問い合わせ先　パーソルイノベーション株式会社　広報室
TEL：03-6757-4259 MAIL：pino_pr@persol.co.jp